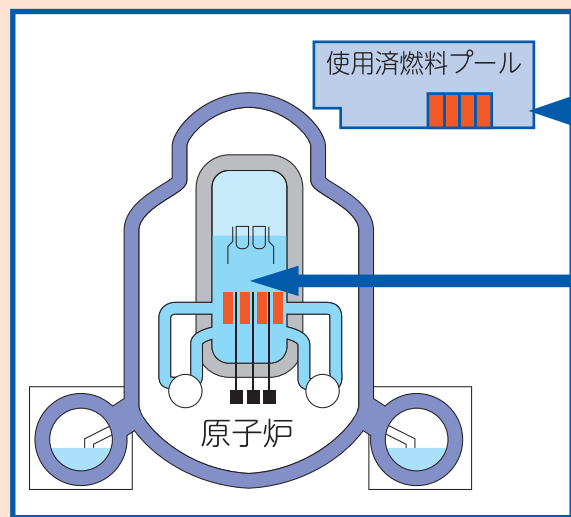


《淡水貯水槽の工事が進んでいます》

女川原子力発電所では、万一の事故の対応に必要な冷却水源の確保のため、平成25年6月より淡水貯水槽の工事を進めています。淡水貯水槽は、海拔約62メートルの高台に設置し、万一の事故の際には、大容量送水ポンプ車を用い、淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへ冷却水を補給するほか、直接、原子炉や使用済燃料プール等に注水することもできます。

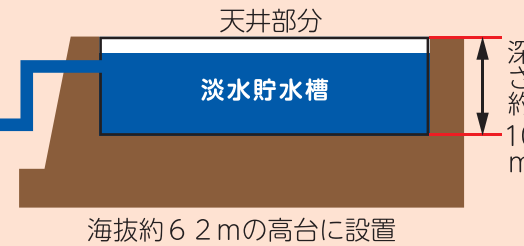
現在は、壁や天井の設置のため、コンクリート工事を実施しており、今後も安全を最優先に工事を進めてまいります。



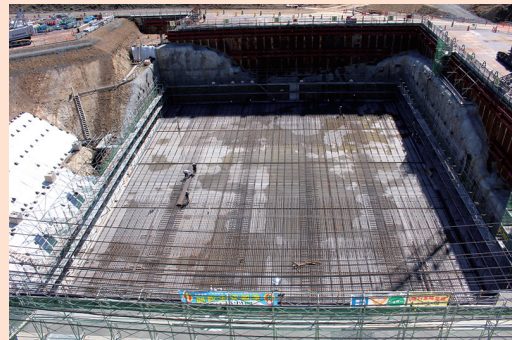
原子炉建屋



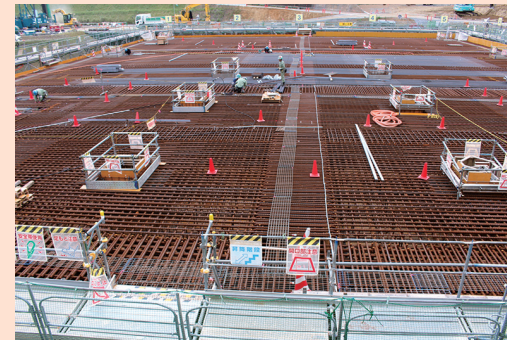
大容量送水ポンプ車



海拔約62mの高台に設置



基礎部分の工事の様子
(平成27年6月撮影)



天井部分の工事の様子
(平成28年9月撮影)



大容量送水ポンプ車を使った訓練の様子

万一の事故の際、冷却に必要な水を供給する設備であることから、品質確保に留意しながら安全最優先で工事を実施しています。



土木建築部 建築グループ
阿部 将人 (石巻市出身)

淡水貯水槽ってどんな設備？

大きさはどのぐらいですか？

東西5.4m、南北4.2m、水槽の深さ約1.0mで、貯水量は約1万立方メートル*です。 *1立方メートル=1,000リットル

どんな時に使うのですか？

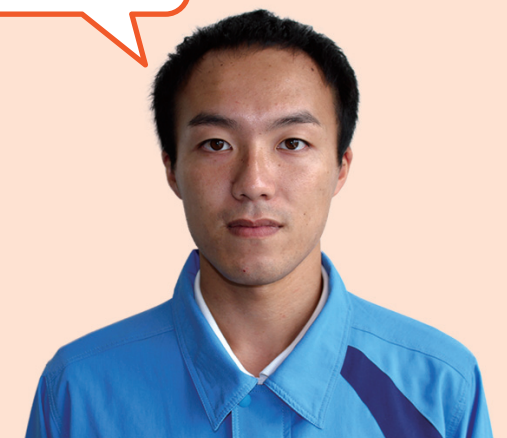
万一の事故*の際に、淡水貯水槽から大容量送水ポンプ車を用いて、原子炉等に直接水を送ります。

*自然災害など何らかの原因により、原子炉等に冷却水を送るためのすべてのポンプが故障したり、ポンプを動かすための電源がなくなるなど。

万一の事故の際はどのぐらいの期間対応ができるのですか？

7日間対応を行うことができる量を確保し、さらに水量を必要とする場合には、大容量送水ポンプ車により海水を補給することも可能です。

万一の事故に備え、大容量送水ポンプ車を使用した訓練も行っています。



保全部 原子炉グループ
藤村 祥基 (岩手県出身)

《交通安全活動を実施しました》

9月21日（水）、秋の全国交通安全運動にあわせ、当発電所および構内協力企業各社では、安全運転意識の向上を目的とした交通安全活動を行いました。

当日は出勤時間帯にあわせ、発電所周辺道路にて交通安全メッセージが書かれたのぼり旗を掲げ、往来する車両に安全運転を呼び掛けました。

当発電所では、これまでも月4回程度、こうした交通安全活動を行っておりますが、今後も継続して実施し、交通安全に努めてまいります。



のぼり旗を掲げて並ぶ当発電所
および構内企業各社員



交通安全を呼びかけます

《東北電力杯争奪ソフトボール大会を開催しました》

8月28日（日）、東北電力杯争奪ソフトボール大会（主催：女川町ソフトボール協会、共催：女川原子力発電所）が、女川町総合運動場第二多目的運動場で開催されました。

当日は天候にも恵まれ10チーム参加のもと熱戦が繰り広げられました。

決勝は、昨年と同じアベ住建チーム対寿会チームの対戦となり10対3でアベ住建チームがV2を達成しました。

会場に足を運んで声援して頂いた皆さま、応援ありがとうございました。



《牡鹿鯨まつりが行われました》

8月28日（日）、牡鹿の捕鯨文化を伝承する「牡鹿鯨まつり」（主催：同実行委員会）が開催されました。

当日は、鯨の食文化を発信する鯨肉炭火焼きの無料試食や牡鹿中学校生徒による侍ソーラン、牡鹿小学校児童による銀鱗太鼓などが披露され、多くの来場者で賑わいました。

当発電所も当社キャラクター「マカプウ」の大型遊具「ふわふわマカプウ」を設置し、みなさまに楽しんでいただきました。



《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

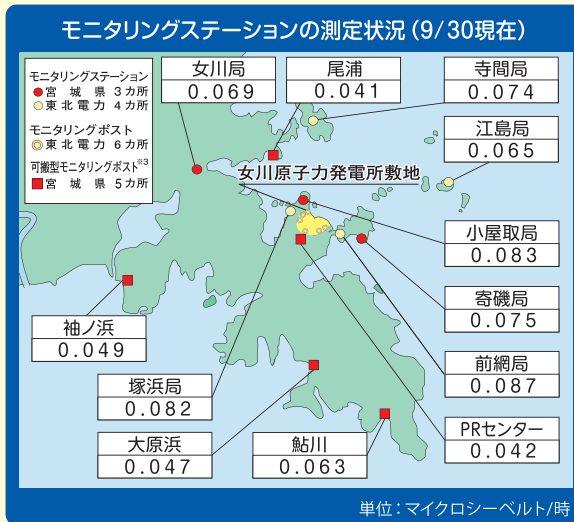
発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.056マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日（平成23年3月13日）の値、毎年度（4月1日）の値、至近の値を掲載しています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。



(参考)モニタリングポストの最小値と最大値

《東北地方太平洋沖地震発生日》	
平成23年3月11日	0.027~0.064
《地震発生後最大値》	
平成23年3月13日	1.8~21※4
《地震発生以降毎年度(4/1)の値と至近値》	
平成24年4月1日	0.063~0.098
平成25年4月1日	0.055~0.076
平成26年4月1日	0.046~0.065
平成27年4月1日	0.043~0.077
平成28年4月1日	0.041~0.061
平成28年9月1日	0.039~0.058
平成28年9月30日	0.038~0.056

単位：マイクロシーベルト/時



女川原子力PRセンターからのお知らせ

《秋の収穫祭を実施します》

10月23日（日）、女川原子力PRセンターにおいて秋の収穫祭を実施します。

女川原子力PRセンター内の果樹園で育ったりんごや大根などの収穫の他、ご家族で楽しめる各種催しを実施いたします。

皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひ女川原子力PRセンターにお越しください。



昨年の様子

《「第15回東北電力図画コンクール」一般投票を行っています》



8月31日（水）までに募集した「第15回東北電力図画コンクール」に、たくさんご応募をいただきありがとうございました。

10月31日（月）までの期間、一次審査を通過した200作品を女川原子力PRセンターに展示し、来館者の皆さまによる一般投票を行っています。

ぜひご来館いただき、お気に入りの作品に投票してください。

新規基準適合性審査状況のお知らせ(9月末現在、審査会合81回開催)

審査会合の詳細は当社ホームページをご覧ください。

東北電力 女川審査会合

検索

女川原子力PRセンター

住所：牡鹿郡女川町塚浜字前田123

開館時間：9：30～16：30

電話番号：0225-53-3410

休館日：10/17（月）、11/21（月）